

2液タイプ知覚過敏抑制材料

フォースデンティン

ありがとう

発売

1周年記念

感謝キャンペーン

キャンペーン期間：2025年1月21日～3月20日

「シミる」をあきらめない!

象牙細管内まで入り込んだ炭酸カルシウム粒子がリン酸と反応し、細管内でリン酸カルシウムを形成、封鎖します。



防湿不要

歯面清掃後の
エアール不要治療後すぐの
飲食OK!

光照射不要

キャンペーン中特別価格

フォースデンティン 発売1周年記念 感謝キャンペーンご注文書

| コードNo. | 商品名 | 注文数 |
|--------|-------------------------|-----|
| 445089 | フォースデンティン 40mL (20mLx2) | |

一般的名称：歯科用知覚過敏抑制材料（歯科用シーリング・コーティング材料）
販売名：フォースデンティン 認証番号：305AGBZX00005000（管理）
製造販売元：株式会社メディボ 大阪市住之江区粉浜西 2-6-2 ロータスコート 502

| | |
|-------------|-------------|
| 貴歯科医院名・芳名 | お取引ディーラー名 |
| ご住所 | |
| TEL () () | FAX () () |

ご提供いただいた個人情報につきましては、弊社事業に関する情報、製品に関する情報の提供等、弊社インターネットホームページに掲載した個人情報保護方針「利用目的」の範囲内で利用させていただきます。

お問い合わせ  株式会社 **ヨシダ** 〒110-8507 東京都台東区上野7-6-9 0800-170-5541（コンタクトセンター）



(01)02747937022399
C02670/2025年1月/@1/新

フォース デンティン使用方法

STEP 1

歯面清掃後
適量の A 液を患部に塗布



Point
エア-不要
こすり塗り

STEP 2

余った A 液を
綿球などで拭き取り



Point

ラバーカップで塗布 OK

手早く広範囲にしっかりとすりこむには
ラバーカップ等での塗り広げも有効です。
A 液を低速1000回転で塗布し STEP 2へ

STEP 3

適量の B 液を
患部に塗布 ※



Point
光照射不要

STEP 4

余った B 液を
綿球などで拭き取り



※浸透させ、A 液 B 液の反応を待つために B 液塗布後
1 分保持すると、より安定した効果が得られやすくなります。

※症状の程度により、繰り返しの塗布を推奨しています。

Check

動画で使用方法を詳しく見る



商品紹介 1 分動画



使用方法動画



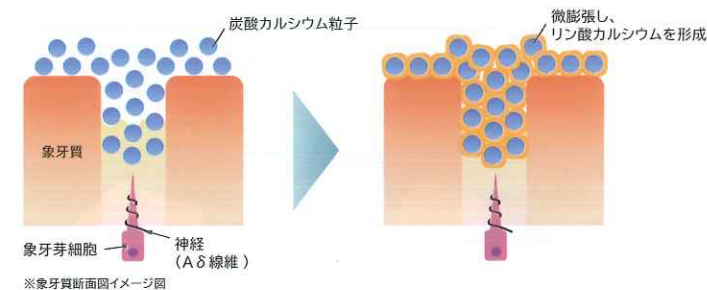
ラバーカップ使用動画

様々な用途・部位への使用

象牙質知覚過敏症 / マイクロクラック / 生活歯の支台歯形成後の歯面 / ホワイトニング後の知覚過敏
スケーリング、スケーリング・ルートプレーニング後 / 露出歯根 等

象牙細管の封鎖性と耐久性

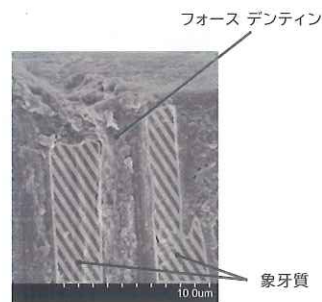
微細な炭酸カルシウムが象牙細管内奥深くで石灰化し、歯と同じ主成分のリン酸カルシウムが形成・膨張するため
ブラッシングやうがいでも取れにくいことが期待できます。また、石灰化に有利な弱アルカリ性であるため
歯に優しい製品となっています。



象牙細管断面図

象牙細管の奥まで入り込み、
象牙質との境目がわかりにくい
ほど緊密に封鎖します。

※塗布・写真撮影：大阪歯科大学口腔病理学講座
※牛歯 / 5,000 倍 SEM 画像



Point

ブラッシングで取れにくい

ブラッシングやうがい、
スケーリングでも取れにくい

〈測定条件〉牛歯を使用した実験データ
※臨床で使用の際は、経過日数や口腔内の状況によって
個人差が生じます。

（塗布・写真撮影：大阪歯科大学口腔病理学講座）



（塗布3回）

※4D ブラッシング・水洗後の電子顕微鏡画像 5,000 倍

※牛歯 / ブラッシング 20 回・水洗 30 秒
（ブラッシングは 1 往復のストロークで 1 回とし、水洗時の水温は 37 度を条件）
※超音波洗浄 2 分間

生体適合性

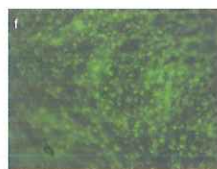
生体適合性があるという論文が発表されました。

フォース デンティンを添加した培地で
歯髄や歯周組織の細胞の培養を行い、
生 / 死細胞染色を行ったところ、
生細胞（緑色）のみが観察されました。

引用文献：Sealing Property of Dentin Tubules by A New Hypersensitivity
Control Material and Its Effect on Human Cultured Cells

（写真提供：大阪歯科大学口腔病理学講座）

Point
お口に優しい



hDDPF

（ヒト乳歯由来歯髄線維芽細胞）



hPLF

（ヒト歯周靭帯線維芽細胞）



hOB

（ヒト骨芽細胞）